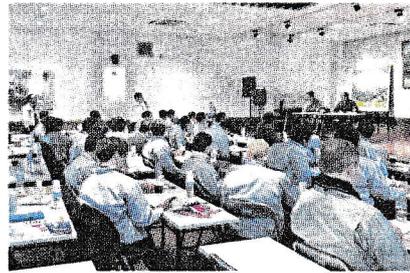


40人の見学受け入れ

銅合金の押出・鍛造品などを手掛ける大和合金(本社・東京板橋区、社長・萩野源次郎氏)は、人事院主催の国家公務員研修に協力した。研修は国際的に活躍できる人材の育成が目的で、同社の見学には各省庁の課長補佐級職員や在京の海外大使館員ら約40人が参加。日本の中堅企業が持つ力強さや日本型経営への理解を深めた。

大和合金 国家公務員研修に協力

大和合金は活気にあふれる製造現場を紹介したほか、事業活動などについて英語でプレゼン。社員旅行などのイベントで和を育む家族的経営の重要性や、短期的利益ばかりに目を向けない企業精神について説明した。さらに航空機・新エネルギー関連の受注をグローバルに拡大する事業戦略にも言及。中国・米国・ブラジルなど国籍にとらわれな



(写真右) 世界に製品供給する製造現場を紹介 (写真左) 日本型経営が持つ特徴も説明された

い人材採用で海外需要に対応する取り組みにも触れた。モノづくりの息吹を現場で感じる見学内容や果敢な海外展開に関する発表は参加者から好評。萩野社長は「質疑で幅広い角度から意見をもらい、当社としても様々な気付きを得ることができた」と話している。

に航空機・新エネルギー関連の受注をグローバルに拡大する事業戦略にも言及。中国・米国・ブラジルなど国籍にとらわれな